

企業・団体の
CSR・SDGs担当者
環境教育を導入
したい学校等
関係者必見！

環境教育

から

～「体験型」でSDGsをデザインする～

未

来

社

会

を

つ

く

る

in Kyoto

2022

11.13

日

13:00
|
16:30

日時

会場

京都府立京都学・歴彩館
京都府京都市左京区下鴨半木町1-29

参加費無料

program

13:00-13:20 開会 主催者挨拶、来賓挨拶

13:20-14:00 基調講演 「『体験型』環境教育で未来社会をデザインする」

「体験の機会の場合」研究機構 会長 石坂 典子

(14:00-14:10 休憩)

14:10-15:10 パネルディスカッション

1 環境教育等促進法に基づく「体験の機会の場合」の認定制度とは

2 体験の機会の場合の認定を取得した事業者のメリットとは

3 小中学校が求める企業・団体との連携とは

4 企業・団体のブランディングを高めるSDGs・ESG活動とは

モデレーター 「体験の機会の場合」研究機構 幹事長 熊谷 豊

パネラー 環境省 大臣官房総合政策課環境教育推進室 室長補佐 富樫 伸介氏

一般社団法人企業価値協会 代表理事 武井 則夫氏

東京都多摩市立連光寺小学校 校長 関口 寿也氏

加山興業株式会社 代表取締役 加山 順一郎氏

(15:10-15:20 休憩)

15:20-16:25 「体験型」環境教育の事例発表

1 学校の体験型環境教育事例「京都の里山の廃校で学ぶ」

京都大学 地球環境学堂 准教授 浅利 美鈴氏

2 行政の体験型環境教育事例「気候変動について考えるオープンスクール」

京都府 府民環境部 理事 島田 和幸氏

3 社団法人の体験型環境教育事例「八ヶ岳『自然体験プログラム』のデザインの秘訣」

公益財団法人キープ協会 環境教育事業部 事業部長 鳥屋尾 健氏

4 民間企業の体験型環境教育事例「協働で目指す『体験型』環境教育プログラム」

藤クリーン株式会社 経営企画部 小林 未侑氏

16:25-16:30 閉会

お申込み



(申込締切 11/9 21:00)

【主催】Green Blue Education Forum実行委員会

【共催】環境省

【後援】文部科学省、渋谷区、京都環境文化学術フォーラム

【特別協賛】石坂産業株式会社、大和リース株式会社

【協賛】株式会社自然共生ホールディングス、医療法人財団綜友会

社・本郷税理士法人、前田建設工業株式会社、株式会社西尾硝子鏡工業所

【サポーター】小田急不動産株式会社、近藤建設株式会社

株式会社ティーアールシー高田、千葉測器グループ

株式会社電弘、医療法人社団ヒロ横浜デンタル

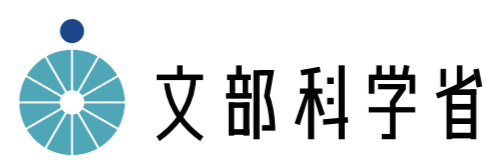
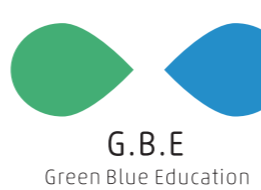
【協力】「体験の機会の場合」研究機構、一般社団法人企業価値協会

特定非営利活動法人雨煙別学校、株式会社オガワエコノス

加山興業株式会社、公益財団法人キープ協会

サンデンフォレスト、株式会社相愛、株式会社中特ホールディングス

株式会社ナカダイ、藤クリーン株式会社



お問合せ

Green Blue Education Forum実行委員会

(石坂産業株式会社内「体験の機会の場合」研究機構事務局)

TEL:049-259-5800(受付時間/平日 8:00-17:00)

MAIL:info@esd-place.org